



2025年2月13日

各位

株式会社ソラコム  
代表者名 代表取締役社長 玉川 憲  
(コード番号 147A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役CFO 五十嵐 知子  
(電話 050-1720-8147)

連結業績予想の修正、個別業績予想及び  
特別損失(投資有価証券評価損)の計上に関するお知らせ

当社は、2025年2月13日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正しました。

なお、当社は、個別業績予想を開示しておりませんが、2025年3月期の個別業績の予想値につきまして、前年実績値との間に差異が生じる見込みであるため、併せてお知らせいたします。

また、2025年3月期第3四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損失の計上を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	リカーリング 収益(注)	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2024年5月10日発表)	百万円 9,912	百万円 —	百万円 925	百万円 913	百万円 686	円 銭 15.87
今回修正予想(B)	9,000	6,550	650	640	310	6.90
増減額(B-A)	△912	—	△275	△272	△375	
増減率(%)	△9.2	—	△29.7	△29.8	△54.8	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	7,928	5,382	727	638	485	12.59

(注) リカーリング収益(プラットフォーム利用料)は、IoTプラットフォームの利用料等、サービスを継続的に提供することにより生じるものであります。当第3四半期より連結業績指標として開示することとしたため、前回発表予想、増減額、増減率については、記載していません。

2. 2025年3月期個別業績予想数値(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	経常利益又は 経常損失(△)	当期純利益又は 当期純損失(△)	1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)
前期実績(A)	百万円 5,428	百万円 △228	百万円 △152	円 銭 △3.95
今回業績予想(B)	6,078	391	192	4.29
増減額(B-A)	650	619	344	
増減率(%)	12.0	—	—	

3. 連結業績予想の修正及び個別業績における前年実績値と個別業績予想値の間に差異が生じる見込みとなった理由

〈連結業績予想修正の理由〉

売上高については、課金アカウント数(注1)やARPA(注2)が継続的に伸びたことにより、リカーリング収益(プラットフォーム利用料)は好調に推移しているものの、大型案件の納期遅れが生じたことにより、前回業績予想比9.2%下回る見込みとなりました。

また、売上高修正により、営業利益、経常利益は前回業績予想比でそれぞれ29.7%、29.8%減少し、親会社株主に帰属する当期純利益は、4.に記載する投資有価証券評価損を計上したことにより、前回業績予想比54.8%減となる見込みです。

(注1) 課金アカウント数は、1ヶ月の間にリカーリング収益が発生した口座数をいいます。同一の顧客企業等が部署や業務別に複数の口座を有する場合があります。

(注2) Average Revenue Per Accountの略称。1課金アカウントあたりの平均リカーリング収益を示す指標を意味します。

〈個別業績における前年実績値と個別業績予想値の間に差異が生じる見込みとなった理由〉

売上高は前期実績比12.0%増となり、経常損益は黒字を確保する見込みです。最終損益については、投資有価証券評価損の計上による影響により、192百万円の当期純利益となる見通しです。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

#### 4. 特別損失の計上について

保有する一部の投資有価証券について、2024年12月末時点で帳簿価額に比べて実質価額が著しく下落したと判断したため、2025年3月期第3四半期連結会計期間において、投資有価証券評価損198百万円を特別損失として計上いたしました。

以 上